

ブナセンター講座

動物と植物の生き方の違いと
葉と花・実の戦略から見る
落葉樹林や草原の植物の暮らしと
絶滅のリスクを考えてみます。

葉と花の戦略と 絶滅危惧種の保全



2016年 3月13日(日) 13:30~15:00

講師 鷺谷 いづみ氏 (中央大学教授)

会場 只見町ブナセンター セミナー室



鷺谷いづみ わしたに・いづみ
中央大学教授。東京大学理学部生物学科を卒業、同大学院理学系研究科博士課程修了(理学博士)、筑波大学、東京大学大学院を経て現職。環境省中央環境審議会委員を務める。専門は生態学、保全生態学で、現在は生物多様性と自然再生に関わる幅広いテーマの研究に取り組んでいる。主な著書に『保全生態学入門』(文一総合出版)、『自然再生—持続可能な生態系のために』(中公新書)、岩波ジュニア新書『さとやま—生物多様性と生態系模様』(岩波書店)、『震災後の自然とどうつきあうか』(岩波書店)、他多数。

*ブナセンター講座の聴講には入館料が必要です。

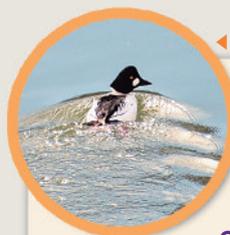
企画展

春植物の生活史

つかの間の季節を生きる
色とりどりの花たち

2016年 3月12日(土) — 6月13日(月)

只見町ブナセンター 2階ギャラリー



◀ホオジロガモ

自然観察会 冬め鳥を見よう

2016年 3月12日(土) 13:00~15:30

只見町は日本有数の豪雪地帯であり、冬期には見られる鳥がとてまなくなり。観察会では、雪上を歩きながら、この厳しい冬を乗り越える鳥たちを探しに行きます。

観察地 只見ダム周辺
*天候により観察地を変更または中止することがあります。

集合 只見町ブナセンター

参加費 1,000円(3月12日・13日の入館料、保険料含む)

持ち物 防寒着、長靴、飲み物、スノーシューまたはかんじき、双眼鏡 ※スノーシューやかんじき、双眼鏡は貸し出し可能です。お持ちでない方は、申込時にお伝えください。

定員30名 事前予約が必要です。只見町ブナセンターまでご連絡ください。TEL.0241-72-8355



只見町ブナセンター

URL:<http://www.tadami-buna.jp>

TEL.0241-72-8355, FAX.0241-72-8356

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見町字下2590番地

●只見町ブナセンターは毎週火曜日休館



只見町は、日本の自然の中心地
自然首都・只見